

令和3年第2回定例会一般質問通告事項

|    |  |             |
|----|--|-------------|
|    | 山戸重治議員（市民連合）   | 質問方式：一問一答方式 |
| 6  | <p>1 「デジタル改革関連法」にかかわる「住民情報システムの統一・標準化」について</p> <p>(1) 今回の「デジタル改革関連法」の成立と、その後に進められるであろう「住民情報システムの統一化や標準化」について、市長はどのように受け止めているか</p> <p>(2) 「国の支援」や「運用の実態を踏まえた現実的なスケジュールやシステム」などについて「地方の意見を聞いて、国と地方が協力してデジタル化を進める」という全国市長会などが要望した方向にあると思うか</p> <p>(3) 今後、尾道市として必要となる業務はどのようなものがあり、そのスケジュールはどのようになっているか</p>                                  |             |
| 18 | <p>2 「デジタル改革関連法」にかかわる個人情報の保護について</p> <p>(1) 今回の国の法律では、個人情報の保護は国が一元的に行うので地方自治体が制定している条例は廃止を求められることになるかと聞いているが、地方自治体には、憲法に定める「条例制定権」があり、市が定めた条例を国が廃止するように求めることができるのか</p> <p>(2) 尾道市個人情報保護条例は、廃止することになるのかどうか。また廃止するとしたら、どのような手続きとなるのか</p> <p>(3) 尾道市が個人情報保護条例を制定し、市民の権利を擁護する立場で作ってきた個人情報保護の制度や仕組みが後退することがあってはならないと思うが、市長はどのように考えているか</p>    |             |
| 日  | <p>3 オンライン化推進に向けた各種申請書への押印廃止について</p> <p>(1) 尾道市が取り扱っている申請書などの様々な様式において「押印」を求めているものはどの程度あるか</p> <p>(2) それらの様々な様式の「押印」を廃止する見直しは、どのような基準や方法で進めているか</p> <p>(3) 現在まで、どの程度の「押印廃止」を実施しているか</p> <p>(4) 今後の見直し予定はどのようになっているか</p> <p>(5) 今後も「押印廃止」に必要な条例改正は、その都度提案されるのか</p> <p>(6) 尾道市が現在進めている庁内業務におけるデジタル化の推進や住民サービスへのデジタル活用について、具体的な内容をお聞きする</p> |             |

